

2024.04.14.イエスは私にとって誰なのか

ヨハネの黙示録 1 章 1 2 節から 1 4 節

JD ファラグ牧師

主よ、主よ、本当にありがとうございます。私たちは少しもふさわしくないのに、あなたは惜しみなく与えてくださいます。主よ、今朝、体の不安やストレス、心配事などの邪魔を取り除いてくださいますか？ 主よ、今朝、どんなこともあなたから私たちを遠ざけるものを。主よ、今朝これらのことから私たちを解放し、近くに引き寄せ、集中させてください。あなたの御言葉に、あなたの力強い生きている素晴らしい御言葉に触れる時に。ですから、今朝、私たちに語ってください。御言葉のうちで共に過ごすこの時間を感謝します。これらのことをイエスの御名によって祈ります。アーメン。

アーメン、アーメン。おはようございます。ようこそ。ご着席ください。来てくださり大変嬉しいです。オンラインで参加の皆さんも歓迎します。日曜日の朝 私たちは今、「ヨハネの黙示録」を節ごとに学んでいます。お知らせしておく、木曜日の夜は、「ダニエル書」を節ごとに学んでいます。今週の木曜日は、御心なら、「ダニエル書」3章に入り、大変有名でパワフルな章で、預言的意味合いだけでなく、個人的適応においてもです。シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴが7倍熱い炉の中に投げ込まれる記述で、ネブカドネツアルが作った金の像に3人は、ひれ伏すことを拒んだからです。ですから木曜の夜、「ダニエル書」の学びに是非ご参加ください。サンド（挟み撃ち）みたいですね。「ダニエル書」は旧約聖書の黙示録と言及され、主だけがおできになる時間と学び、日曜の朝は「ヨハネの黙示録」と、(木曜の夜は)「ダニエル書」に同時に入っています。つまり、これ以上のことはありません。私がそれを言うのに飽き飽きしないことを願います。これ以上いいことはないから、そう言い続けています。で、今日の箇所は1章、12節から14節までです。可能であれば、ご起立いただき、ご無理なら、座ったままでも結構ですので、私が神の御言葉を朗読するのについてきてください。今、ヨハネはイエス・キリストのこの幻と啓示を描写し続け、こう語ります。

ーヨハネの黙示録 1 : 1 2ー

私は、自分に語りかける声を見ようとして振り向いた。振り向くと、七つの金の燭台が見えた。

ーヨハネの黙示録 1 : 1 3ー

また、その燭台の真ん中に、人の子のような方が見えた。その方は、足まで垂れた衣をまとい、胸に金の帯を締めていた。

ーヨハネの黙示録 1 : 1 4ー

その頭と髪は白い羊毛のように、また雪のように白く、その目は燃える炎のようであった。

祈りましょう。主よ、この驚くべき「黙示録」における私たちの前にあるあなたの御言葉のこの箇所に感謝します。主よ、ヨハネに与えられた啓示、幻をありがとうございます。この幻は、あなたを描写し、あなたがどのようなか。おお、主よ、それは畏れで震えますけど、しかし尚、聖なる期待でもあります。それがどんな様子なのか、あなたがどのようなか。ですから主よ、これに感謝します。私たちにわかるのは、あなたが私たちに見せられたいこと、明らかにされたいことが、ここにはたくさんあります。さらに大切なのは、私たちの人生への適応です。私たちは御言葉を聞くだけの者になりたくないからです。御言葉を行うものになりたいのです。(ヤコブ 1 : 2 2 参照)

イエスが家を建てるたとえで語られたように、クリスチャン生活の家を、砂ではなく、堅固な岩の土台の上に建てたいのです。その堅固な岩とは、あなたの御言葉の実践と私たちの人生への適応です。そうすると、嵐が来ても動じません。主よ、今、始める前に祈る通り、今、人生の嵐を経験している人たちが大勢いることを知っています。率直に言って、彼らはかるうじて糸一本でしがみついている状態です。彼らは大変落ち込み、落胆し、その落胆は絶望に変わりつつあります。ですから、主よ、この箇所を通して、あなただけがおできになるように、私たちが奮い立たせてくださいますか？「私の頭を上げる方。」(詩篇 3 : 3 参照) ですから、主よ、今日の私たちの時間で、あなたが御言葉でなさろうとしていることに前もって感謝します。イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。

ご着席ください。ありがとうございます。今日、私たちの目の前にある箇所について、主を求めるためにかなりの時間を費やしました。12 節から 14 節だけを教えることは、実は月曜日の早い段階から決めていました。その理由は、ヨハネの啓示で、イエスがどういうお方であられ、さらにイエスがどういうご様子かについて、私たち皆にとって強力な意味を持つからです。このように大々的で大胆な方法で始めましたが、このように言わせていただくと、ヨハネが書いている幻は、『イエスは私にとって誰なのか』私たちはこういう言い方をしますね。「彼らはあなたにとって誰ですか?」「おお、それは、、、あれは私の兄弟です。あれは母親違いの兄ちゃんです。」— (笑) — 失礼。

「おお、あれは私の友達です。」「おお、それは。あなたにとって、彼らは何ですか? どうやって彼らと知りあったの?」「あなたにとってイエスとは誰ですか?」「おお、イエスを知っています。」「はい、でもイエスはあなたのことをご存知なの?」

「マタイの福音書」7 章はどうですか? その章は、多くの人々が、私を含め、できる限り近づくのを避けようとしています。その章で、イエスは非常に強く仰い、それに抗議する人々はこう言います。「待ってください。私たちはあなたの名によって悪霊を追い出し、貧しい人々に食べ物を与え、これらすべての善い行いをしました。あなたが私たちに仰るのは、

『わたしから離れなさい。わたしはおまえたちを全く知らない。』ですか?」(マタイ 7:22-23 参照)
それは厳しく、激しく、必要なことです。ですから、私がこう言う時、

「あなたにとってイエスとは誰なのか? 私にとってイエスとは誰なのか?」それは、イエスがヨハネに、ご自身がどういう方であられるかを明らかにされたという意味で、ひいては、イエスが私のために来られる時、イエスが私にとってどういう方であられるのか。これは興味深いです。実際に、これは問題だからです。説明します。ヨハネが受けたイエスがどういう方なのかの啓示の幻は、イエスの初臨の御姿とはまったく対照的でした。お付き合いください。イエスの初臨は、主は苦難の救い主であられました。再臨は、おお、勝利の王です! その目は燃える炎! (ヨハネの黙示録 19:12 参照)

そこに唸りを入れねばなりません。「今、あなたは、私の注意を引きました。」良かった。私たちにこの啓示があるのは、イエスが今、終わりの時に私にとってどのような方なのかと、イエスが最後に私のために戻って来られる時への理由です。さあ、思い出してください。この手紙は書いて、送られました。先週もこの話をしましたね。ヨハネは、彼が過去に見たこと、今見たこと、これから起こることメタ・タウタ: この後/未来を書くように言われただけでなく、ヨハネはまた、それを書き留めるだけでなく、送るように言われました。具体的に七つの教会宛て、7: 完成数、教会の完成を表します。なぜか? なぜヨハネは命じられたのか?

A: 幻を与えられ、B: 書き留め、C: 送るように。

これまで何度、何かを書いて送らなかつたことがありますか? 送信ボタンを押さなければよかつたと思うメールがどれだけあることか。あなたはメールを書きます。「う〜ん、、、(唸る)」燃え上がる火が湧き上がる。おお、申し訳ない。若者は、これ(親指操作)です。なんでもいいよ。でも、それを送りません。あなたはそれを書き留めただけ。時には書き出して、吐き出すことも必要です。それが、私が祈りの日記をつける理由の1つです。書き出し、時には戻って、時には戻りたくありません。痛みを感じるから。しかし、祈りの日記に2~3戻ると、実際、私は何年も、いや何十年もしています。あなたが経験した困難な時、人生でその時期に戻ると、祈りのリストと一緒に祈りの日記があります。どれほど神があなたに本当にご忠実であられたかわかるのは、あなたがこう思った時。「これで終わり。私はこれを乗り越えられない。」そして神は11時(ギリギリで)に来て下さいます。それより前ではありません。最後の1秒に何かがあります。11時ではなく、11時59分59秒です。主は現れ、火の燃える炉から救い出してください。因みに、それが木曜日の聖書の学びのタイトルです。『神はその火のような試練からあなたを救い出される。』OK。サッと、少しだけ私からは何も聞き出せませんよ。木曜の夜に話すんですからね。シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴ。ネブカドネツアルが、「おい、お前たち、こちらへ来なさい。もう一度チャンスをあげよう。一度目、お前たちはひれ伏さなかつた。二度目だ、チャンスを与えよう。」彼らは、王にこう言います。

「ネブさん、私たちはこの金の像にひれ伏すつもりはありません。あなたが金の頭の像の夢を与えられた神に反抗して作ったこの金の像に。あなたは全身金がお望みですね。自分の国が永遠に続くことを望むから。私たちをこの像（高さ60キュビト、幅6キュビト、6つの楽器の演奏時）にひれ伏させようとしています。」それは言い過ぎでした。もうひとつ。他にもたくさんあります。彼らが王に言う言葉が大好きです。「私たちの神は、あなたから私たちを救い出すことがおできになります。」（ダニエル 3：17参照）

「しかし、もしそうでなければ、、、」 エステルのように、「死ななければならないのでしたら、死にます。」
(エステル 4：16参照)

或いは、ヨブのように、「神が私を殺しても、私は神を待ち望む。」（ヨブ 13：15参照）

たとえそうでなくても、神は私たちをあなたから救い出してくださいます。（ダニエル 3：17～18参照）

「私たちには、方法は分かりません。黒焦げかもしれませんけど、それでもあなたからは救い出されます。神は尚も、私たちを救ってくださいます。あるいは、別の方法で私たちを救ってくださるかもしれません。ベツレヘム前のイエスの顕現が、この7倍も熱い炉の真ただ中で、私たちを救い、あなたから救ってくださいます。しかし、要するに、あなたが気に入る気に入らないにかかわらず、私たちは救い出されます。私たちは救い出されます。」

OK。そこまでです。あとは木曜の夜に。－（笑）－ 進行中の説教に戻ります。当時の教会も、現在の私たちと同じように、どのように終わるかを知る必要があります。今、物事が非常に困難な状況だからです。そして、それを知ることで、私たちの心を休め落ち着かせます。「ちょっと待って。物事は大変困難です。私たちの多くが死刑になります。私たちは考えられないような迫害を受けています。」

「ですから、ヨハネよ、これを彼らに伝えて、希望を与えてほしいのです。」「エレミヤ書」は何と語りますか？ わたしのあなたがたへの計画は、わざわざではない。（エレミヤ 29：11参照）

「わたしはあなたを傷つけたり、危害を加えたりしたくありません。わたしのあなたへの計画は、あなたに未来と希望を与えること。」

ですから神は、彼らのために何を計画しておられるのか、前もって知らされたいのです。それで彼らは落ち着き、安心し、平安にただ信頼することができるのです。「そう、ええ、これはひどいです。しかし、私はどのように終わるかを読みました。私にとっては大変良い結末でした。大変ありがとうございます。あなたは？わかりません。そうじゃないかもしれませんね。」

しかし、これが彼らを落ち着けました。これは彼らにとって大変必要な励ましとなりました。絶望に打ちひしがれていたからです。2章と3章では、この七つの教会に宛てた手紙を見ます。それはすべて、イエスが私にとって誰なのか、いつイエスが私のために戻られるか。それが「黙示録」だからです。イエス・キリストの黙示です。イエスがどういう方だったのか、イエスがどういう方なのか。私はこれを言う時非常に牧師的でありたいんですけど、主が戻られるとき主はどんなご様子なの～？ さあ、言いました。それでは！

準備はいいですか？ 会衆：はい。私たちは祈りましたか？ しましたか？ 祈りました？ おお。私が読んだ後、、、あなたは祈ったね。大丈夫ですね。OK。進みましょう。12節です。

1つ目、イエスは、、、

はい。今のはひどい。わかってます。聞いてください。優しくしてね。今週は本当に大変でした。

1. イエスは私の唯一の源。

これは興味深いです。ええ、ですから、ヨハネは非常に詳しく描写します。この御声をどのように聞いたのか。私たちは先週、これを見ました。ラッパのような声。私たちはそのラッパがわかります。威厳のあるラッパの音。ヨハネは、それが誰なのかを確認するために振り向きしました。その時、ヨハネは何を見たのか？

7つの燭台？ 待って、何？七つの燭台。因みに、これらの燭台は単独です。メノラー（7本枝の燭台）のようではありません。メノラーは、中心があり、そこから他の燭台が派生しています。私がしたその方法で分かりますか？ グラフィックを入れるべき？ メノラー（7本枝の燭台）をご存知でしょ。つまり、中心に供給源があります。そこから他の燭台の枝が出ています。ヨハネがここで見ているのはそれではありません。7つの独立した燭台を見ます。なぜ？ お聞きくださり大変嬉しいです。お付き合いください。私と一緒に考えてください。燭台はまさにそれです。：燭台。意味深です。わかります。しかし、燭台はそれ自体では光を生み出しません。可能性はありますが、しかし、光源がなければ、ただの燭台に過ぎません。で、源とは何ですか？ この場合は油で、聖霊の型です。言い換えれば、イエスは私の唯一の光の源であられ、聖霊の御力によって、このいのちで、私に御力を与えられ、永遠のいのちへ封印される。それが源です。ゼカリヤのことを考えます。おお、何章か思い出せません。彼は幻を示しました。2つの巨大な、、、4章だと思えます。今は調べないでね。私が説教しているんだから、待ってね。ー（笑）ー

彼は2本の巨大なオリーブの木を見ます。そこにこのような、、、仕組みがあって、うまく表現できませんけど、それは、この光、この燭台に絶えず途切れることなくオリーブ油を供給しています。決してなくなることはありません。幕屋とそれに続く神殿で、祭司は聖なる場所にある燭台の火を決して消してはなりませんでした。仕事内容としてはどう？ あなたの仕事は1つ。：必ず、燭台には常に油があり、火がいつも灯っていること。（レビ 6章参照）

理由は、それが消えたら、、、いやいや、、皆さんがそこは埋めてください。想像力を働かせて。供えのパン、ささげのパンのテーブル。もちろん、パン、いのちのパンです。イエスは世の光です。幕屋で、続いて神殿で、すべての備品は7。完成数です。すべてが描写しているのは、イエス・キリストという人物への深い預言的予型です。幕屋に使われる糸の色に至るまで。つまり、これは大変素晴らしい学びで、その1つは、、、今日は時間を取りたくありませんけど、しかし、この光の源について話します。主が光であられます。「ちょっと待ってください。私たちが塩であり、光だと思っていました。」はい、でもその源は？ 香りと渴きを生み出す塩の源は？ イエスです。私たちは光です。暗闇の中で光です。はい、しかしその光の源は？ イエスです。「OK。ちょっと待ってください。あなたが言ったのは、聖霊だと思いました。」はい、それが一番良いところです。先週もこの話をしました。覚えていますか？ イエスが十字架に行かれるのを恐れていた弟子たちを落ち着かせようとされたときのことを。「わたしは行かねばなりません。実は、あなたがたはわたしを行かせたいのです。わたしが行かなければ、聖霊を送ることができないからです。ですから、あなたがたは神と一緒にいました。しかし、わたしが行けば、あなたがたのうちに神が住まわれます。」

それは、再び、私は非常に牧会的じゃないですか？「その方がずっといいです。だって、そう、聖霊なる神が私に内住されるなら、主はまだ私と一緒にですけど、しかし今、主が私の中に住んでおられる。聖霊が、聖霊なる神が。」恐ろしいことです。考えてみれば、聖霊が私に宿っておられるなら、私の体は聖霊の宮だからです。（1コリント 6：19参照）

それから、私が行くところどこへでも、聖霊と一緒にられる。私が見ているものすべてを、聖霊は顔をしかめ、悲しまれます。神は聖霊を消してしまう事を禁じておられます。しかし、私には神、聖霊が内在しておられる。聖霊はその源、聖なるいのちの唯一の源、それが聖霊です。それだけではありません。聖霊は慰め主であられます。このクリスチャンたちが、そういう時があったなら、今の私たちのように、慰めが必要だったのです。それが今です。私たちを慰め、落ち着かせられる。これがその慰めと励ましの源です。それは聖霊によってもたらされます。それが唯一の源、光の源です。

描写を使ってもいいですか？ 大変良いことを聞きました。私が思いついたのではないので良いです。私たちはこう言いますね。「おい、バッテリーを充電しないと。」おお、頼みますよ。頷いてよ。もちろん、ありますね。問題は、たぶん、ただ充電が必要で、バッテリーを充電させる。私は燃え尽きて、使いすぎてもう限界。ですから、全て充電しにカンファレンスに行ったり、本を買ったり、充電するために何でもします。

「あなたたち皆、そうだ！もっと！もっと！もっと！」もっといい考えがあります。バッテリーを充電する代わりに、電気に直接つないだらどうですか？OK。まあ、とにかく、置いておきます。それはあなたと唯一の源の聖霊との間のこと。それがあなたの源です。それがあなたの力の源です。聖霊の御力です。ドゥミナス/ギリシア語 ダイナマイト/英語、そう！あ”～～なぜしない？ サッと言います。これもまた、私が言

うことに飽き飽きしないことを願います。私にはわかりません。この終わりの日、この終わりの時に、クリスチャンが生き残ること、成長することが、聖霊の御力、聖霊によるバプテスマ、聖霊があなたの上に臨まれる/エピ（ギリシア語）ことなくどうやって可能なのか。私には聖霊と共に/パラ（ギリシア語）、中に/エン（ギリシア語）、臨まれ/エピ（ギリシア語）、私の人生に注がれ、溢れ流れるので、私の人生が奔流のように、力強い生ける水の奔流となります。

再び描写です。洪水は家全てを爪楊枝のように流してしまいます。それが力です。イエスは仰います。

「だれでも渴いているなら、わたしのもとに来て飲みなさい。」それは祭りの終わりの大なる日でした。

（ヨハネ 7：37参照）

イエスはいのちの水です。（黙示録 21：6参照）

イエスは世の光です。（ヨハネ 8：12参照）

イエスはいのちのパンです。（ヨハネ 6：35参照）

イエスが源です。あなたは力が足りないかもしれません。自分が無力であることに気づきます。無力感とともにくるのは絶望です。無力で絶望的だと感じます。ただ謙虚に提案してもよろしいですか？ これは私にも当てはまります。新たに聖霊に満たされ、バプテスマを受ける必要があるのかもしれませんが。

「おお、牧師さん、聖霊の賜物全部に触れるつもりですか？」いいえ。あなたが望まない限りね。そうなら喜んで。いえいえ、ランチ前にここから出してあげます。いえ、ランチ前にはなりません。13節にある2つ目に進みましょう。

2. イエスは私の大祭司。

ですから、イエスは私の唯一の源で、イエスは私の大祭司であります。それが私にとってイエスがどなたであるかです。今、それが私にとって何を意味するのか？ これは「ダニエル書」への興味深い言及です。覚えていますか？話したとおり、「黙示録」は、控えめに見ても、「黙示録」の90%以上が旧約聖書の言及です。彼らは知っていました。彼らは神の御言葉を知り、聖書を知っていたからです。ですから、これが書かれた時、ローマ人にとっては、暗号みtainな文章は、決して暗号ではありませんでした。彼らは、、、なんと呼びますか、、、暗号を解説します。彼らは神の御言葉を知っていたからです。ですから、彼らはすぐにわかりました。啓示を受けたヨハネが、イエスについて「人の子のような方が」というのは、「ダニエル書」7章13節を参照していると。「ダニエル書」3章で、それを再び見ますけど、それは木曜日です。ですから、そのために木曜日に来なければなりません。しかし、これからが私たちが理解するのに重要です。その理由を説明します。「足まで垂れた衣をまとった人の子のような方」とは、全身覆った大祭司を意味します。これを見てください。イエスは私にとって大祭司であられるだけでなく、同時に、私を覆ってくださいます。私たちはキリストの体だからです。ですから、大祭司として神の子で、子なる神の体の一部として。イエスは体を覆っておられます。それが私にとってのイエスです。主は私の覆いで、の大祭司であります。祭司は、仕える聖職者の奉仕の彼らが表しているのは、神から人々へ、人々から神へ。そして、イエスはメルキゼデクの例を成就されました。（ヘブル 6：20参照）

大祭司についての最初の言及です。私たちは、おお。「ヘブル人への手紙」の学びのとき、それは強烈でした。最も、、、告白します。聖書の中で最も教えるのが難しい書の一つです。あなたの牧師がその書を教える準備をしようとして血の汗を流したことを知ってください。大祭司メルキゼデク、メルキゼデクの例？

違います。主はメルキゼデクよりも偉大なお方です。すべてが、誰もがイエスを指し示し、イエスによって成就されました。で、それは私にとって何を意味するのか？それが私にとって何なのか？おお、イエスはあなたの覆いです。イエスはあなたの大祭司です。これは何か、難しく、、、理解するのは可能ですが、あなたがちゃんと理解するのが難しいのは、イエスが仰り、約束されたことをあなたが思い出すと、イエスが御父の右におられ、私たちのために祈ってくださること。（え～～！！）私は覆われています。待って。聞いてください。あなたが私のために祈ってくださると、ありがとうございます。大好きです。あなたがこう仰る時、「私たちはあなたのために祈っています。」ありがとうございます。私にとって非常に大切な

ことです。真剣に、大変意味があります。しかし、誰かが私にこう言う時、私にとってのイエスは、イエスが私のために祈っておられる？ 私はこんなふうに、

「イエスが私のために祈っておられます！ 再度、何か問題でも？」私のために聖霊の執り成しがあります。私の大祭司であられる主が、私を覆われ、私の代わりに、私のために祈っておられます。私は日陰で作りました。（とても楽な生活を手に入れました。）牧師的な別の言い方を探していますが、割愛しますよ。十分だと思うので。しかし、そのことは私たちを落ち着かせます。イエスが私たちを覆ってくださるから。最後にもうひとつ。それから3つ目（最後の1つ）に進みます。残りの時間をこれに費やしたいのです。デカイから。大祭司はすべての肉を覆い隠さねばならなかったのです。ですから、いけにえとささげ物を捧げるとき、彼らは祭壇に上がり、衣を地面まで垂らさねばなりません。歩く時に、自分の肉が見えてしまうからです。どんな肉も神の御前には出られません。肉なる者がだれも神の御前で誇ることはありません。（I コリント 1：29 参照）

妨害したくありません。これは牧師にとって、話す時、罪が示されます。なぜその話に行ったのか？ 牧師として、私の肉は覆われていなければなりません。肉が妨害し、御霊から遠ざけるからです。肉は御霊に敵対するからです。肉と霊の戦いがあります。

「霊は燃えていても肉は弱いのです。」（マタイ 26：41 参照）

これには多くのタイプがあります。御霊によって歩めば、御霊によって忙しく、聖霊に満たされ、聖霊のパプテスマを受けると、肉の欲を満たすことはありません。そういう仕組みです。ええ、例えるなら、私が満腹で、あなたが私を夕食に招待するなら、あなたが素晴らしい何を用意しても、私は食欲がありません。ご招待ありがとうございます。ちなみに、今の私の世界でそれは現実ではありません。が、あなたがここに用意した素晴らしい食事は、代々受け継がれてきた自家製レシピ、秘伝のレシピで、作り方は言えません。あなたを殺さなきゃいけないから。そんなレシピ。あなたは私に作ってくれますが、私はそれに対しての食欲がありません。なぜ？ お腹がいっぱいだから。理由は？ タコベルのドライブスルーに行くと、私がかぶりついたのは、シュプリーム・タコス12個、ブリトゥ2～3個、ゴディタ、他に何を食べたかは秘密です。ですから今、タコベルでお腹いっぱい、あなたが選び、用意したこの美しい聖霊の食事には食欲がありません。それはどちらにも働きます。私がそうなら、、、逆にしてみましょう。私が聖霊でいっぱい、非常に満たされているのなら、、、おお、どういうことかわかりますか？ わお～。で、私がタコベルの前を通ると、タコベルが私に話しかけてきます。

「JD～～～うわははは～ 12個どう？」私はこんなふうに、「うん、いらない。」ドライブスルーで注文して、欲望を満たす気はまったくありません。100ドル！ 最近、こういうものの値段を見たことがありますか？ それはまた別の機会の別の題材です。「牧師さん、ポイントありますか？」はい、間違いなくあります。私たちの肉は大祭司によって覆われています。それが私にとってのイエスです。

「愛は多くの罪をおおうからです。」（I ペテロ 4：8 参照）

肉はありません。イエスが肉を覆われるからです。主は私の大祭司であられるからです。

最後に、この3つ目について話しましょう。残りの時間をこのことに費やしたいのです。イエスは私の唯一の源だけでなく、私のきよめの火でもあられる。きよめの火。イエスは光の源だけではなく、いのちの源です。イエスは私を覆われる大祭司だけではなく、私をきよめてもくださいます。それが私にとってのイエスです。これについて話す必要があります。理由は、繰り返しますが、彼らは手紙を受け取り、これは「イザヤ書」1章18節の言及だから。彼らは家での聖書の学び会で、そのようにする必要はなく、こう言うことはなかったでしょう。「おい、ヨハネは何を、、ヨハネは旧約聖書のどこの箇所を参照しているのか？『羊の毛、雪のように白い』と語っているけど。」いいえ、彼らは分かりました。「あ！イザヤ書1章18節だ！」

この聖句をご存知ですね。この節を知っていることを知らないだけです。イザヤは語ります。

「たとえば、あなたがたの罪が緋のように赤くても、雪のように白くなる。」（イザヤ 1：18）

イエスは私たちを赦し、きれいにきよめてくださいます。

「東が西から遠く離れているように 主は 私たちの背きの罪を私たちから遠く離される。」

(詩篇 103 : 12 参照)

もう思い出されません。「はい、でも私の罪はかなり緋色だった。」 「はい、でも、主が雪のように白くしてください。」 主の髪は白い羊毛のように、また雪のように白い。(黙示録 1 : 14 参照)

それが私にとってのイエスです。

3. 『イエスが私をきよめてくださる。』

「第一ヨハネの手紙」1章9節、クリスチャンの石鹸と言われます。私はたくさん石鹸を使ってきました。「もし私たちが自分の罪を告白するなら、・・・私たちがするのは、罪を告白することだけ。・・・神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し・・・」

1粒で2度美味しい。私たちがする全ては、罪を告白すること。ひとつだけ。私がするのはひとつ、罪の告白です。主はふたつのことをして下さいます。何ですか？

「主は私を赦し、きよめてくださる。」・・・私をすべての不義からきよめて下さいます。(ヨハネ 1 : 9)

私の罪が緋のように赤くても、イエスはそれをきよめて下さいます。これはハワイでは通用しませんけど、本土ではよくこう言われていました。踏み入っていない雪。つまり、きよらか。雪が降って、除雪車が来る前に、、、除雪には時間がかかります。彼らが到着する頃には、雪はすでに解けています。しかし、誰もその上を通っていません。非常にきよく、新鮮で、真っ白。羊の毛のような白さだけではなく、、、白髪や灰色の髪を考えないでくださいよ。これは輝く白さです。輝く白。あなたにこの緋色の深紅のしみがあって、「詩篇」22篇の虫、緋色の虫、紅色の虫について話しましたね。イエスがご自身を木の上で死ぬと緋色を分泌する虫と言及される時です。それが染料になりました。その木の上でその虫が死ぬとき、イエスが十字架で死なれた御体のように、その深紅の虫の体も白くなります。それは、緋色の虫の死から生まれる新しい命の幼虫です。つまり、ボン！(頭がぶっ飛ぶ)でしょ？それがイエスが仰っていることです。「あなたにとってわたしは誰ですか？わたしはあなたのきよめの火です。」それが火がすることですね？火はきよめます。使徒ペテロが使う火で精錬された私たちの信仰(1ペテロ1 : 7 参照)のたとえについて考えてください。火が金を純金にします。どうやって？火にかけることによって。その温度は非常に熱いです。すべての不純物が表面に浮き上がって出ます。そして、金細工職人はその金の表面から不純物をすべて削り取ります。金細工職人が、それが純金だと分かるのは、(聞いてください。)その金に自分の姿が映った時。わお。ちなみに、これは「ローマ人への手紙」8章29節です。「ローマ人への手紙」8章29節について語らないのは、「ローマ人への手紙」8章28節に魅了されすぎているからです。それは悪いことではありません。必要であれば、逆さまに、裏返しに引用したり、いくつかの異なる翻訳や言語で引用することもできます。ご存知、「神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、・・・」

(ローマ 8 : 28 参照)

そこで止めます。ちょっと待ってください。OK。私は神を愛しています。しかし、この「神のご計画に従って召された人たち」とは何ですか？おお、それは次の節にあります。目的は何か？イエス・キリストに似た姿に形作るため。おお、それですべて説明がつかず。これは私をもっと、イエスのようにするために他なりません。で、主はどうなさるのでしょうか？イザヤが言うように、主がされねばならないのは、苦しみの炉で私たちを精錬する。(イザヤ 48 : 10 参照)

OK。そこで止めます。精錬されたいですけど、しかし、苦しみの炉の中ではなく、ハワイのビーチで精錬されるのがちょうどいいと思います。いいえ、、、あなたが入られるのは、そう、あなたは粘土で、わたしは陶器師です。(イザヤ 64 : 8、エレミヤ 18 参照)

陶器師が粘土に何をするかご存知ですか？残酷です。残酷。これがエレミヤ、これがイザヤです。つまり、彼らは陶器師と粘土の例えを使います。粘土って何ですか？土です。実際、人間の肉体の17の元素は、地球の塵から発見された17の元素と同じです。神がアダムを地の塵から創造された時、文字通り、神は

アダムを地の塵から創造されました。ですから次回、自分を必要以上に高く評価するなら、思い出してください。あなたは塵です！！ — (笑) — 私たちは塵にすぎません。そうでしょ？ それが私たちが誰なのか、です。しかし、ここで話すのは、イエスが私たちにとってどういう方であられるか。私たちがどういう者かの通り。主はその土を取られ、粘土を作られ、その粘土をろくろにのせねばなりません。これらを見たことがありますか？ 回転が非常に速いです。あなたはろくろの上にあります。あなたの人生がぐるぐる回り、「主よ～～、何をなさっているのですか？」「じっとしなさい。あなたはろくろの上にあります。いいですか？」「おろしていただけますか？ クラクラして、吐きそうです。」「いいえ、あなたは吐くものはありません。わたしはすでに陶器師として、わたしの手を、その粘土に突っ込み、あなたをろくろにのせる前に、汚いものを全部取り除きました。」

そして、、、そこからは下り坂（ずっと楽）です。私たちはろくろの上において、陶器師、神は粘土をそのイメージに形造ろうとしておられます。私たちは神の作品、「ポエマ」（ギリシャ語）です。英語の"poem"の由来です。私たちは神の作品です。芸術家が自分の作品に名を入れるように、神は私たちにご自分の名を入れてくださいます。私は作品です。あなたもです。が、まずは私たちが通らねばならないのが、まだろくろの上にあります。私はただ神の御手で、つまり、ボン！ そこに置かれます。陶器師がこうするのを見たことがありますか？ 陶器師は途中で汚いものを取り除きます。そしてあなたはろくろの上で、1時間に何千キロも回転します。めまいがします。何も分かりません。非常に混乱しています。

「神よ、あなたは何をしておられるのですか？」そして、神はご自分の手で、こうされます。バン！「何をなさるのですか？」「わたしはあなたを形造っています。」ろくろの上にいる間です。今はまだ何も見ていない。それ以上に悪くなります。ですから、言い換えると、ろくろを楽しみなさい。窯(kiln)に入るからです。適切な名称です。覚えていますか？ 学校の陶芸の授業を？ 陶芸を習いましたか？ はい、私はあの時の傷があります。私たちは窯がありました。完璧な名です。

「神よ、あなたは私を窯で焼かれるのですか！」(釜/kiln➡)

殺す/killing)

「わかっています。わたしはせねばなりません。」あなたは粘土の状態でそこに置かれ、今、すでに形造られ、形成され、作り出され、そして、あなたは炉の中に置かれ、その熱さは、シャデラク、メシヤク、アベデ・ネゴの七倍の熱さどころじゃありません。700 倍も熱いのです。あなたはそこに入り、こう言います。

「神よ〜!!! 何をなさるんですか？」神は応えられます。「そのうちわかる。わたしはあなたをきよめ、精錬しています。わたしはあなたを、わが息子、キリスト・イエスのようにします。それがわたしがしていることです。」イエスはどのようなお方だったのか？ 謙虚でお優しい。「わたしはあなたをよりイエスに似せるために、あなたの荒削りなところを取り除かねばなりません。イエス・キリストの似姿にすることが目的だからです。」「使徒の働き」について考えます。二人の男がいて、人々は二人を見てこう言います。

「あり得ない。彼らは教養のあるタイプじゃないのに、私が彼らの話を聞くなんて、ナザレのイエスについて語っている！ わお！」

そして、誰かがやってきてこう言います。「あなたの質問に答えるなら、彼らはイエスと一緒にいたことがある。」おお、神に願います。それが私のことであったなら。人々は私を見て驚きます。いえ、ともかく彼らはそうします。わお。そう、でしょ？ あなたもです。しかし、彼らは驚き、彼らはただ、なんというか、、、あなたは彼らにとって謎です。そして誰かがやってきてこう言います。「おお、彼はイエスと一緒にいた。」「おお〜。」私たちは、最も一緒にいる人に似るのでは？ これが「箴言」が語る理由です。

「怒っている人と付き合うな。彼のようにならないように。」(箴言 22 : 24 ~ 25 参照)

伝染ります。それはどちらにも作用します。昔、何年も前に上司がいました。何十年も前のことです。この人物は強烈でした。もちろん、毎日、毎日、彼と一緒にです。私は自分自身に気づき捕らえ始めると、彼がするような行動をしていました。つまり、物腰も何もかも。彼が言うようなことを私も言います。私はこのように、「いやだ〜〜!!! あんなふうにはなりたくない。」誰かのそばにいればいるほど、その人に似てきます。イエスの周りいるのはどうですか？ イエスと一緒にいることで、イエスのようになれるのです。OK。これを話します。これがきよめの火だからです。留意ください。ヨハネは、、、きよめの火であると同時に、報いの火でもあります。少々ご辛抱ください。私たちは、、、「第一コリント人への手紙」1章で、それを説明します。火が純化させ、より価値ある貴重な純金にします。しかし、その同じ火が焼き尽くすのです。しかし、また、その火が報いを露呈させます。その火がすることを基に。ですから、私の信仰は、金(きん)のように、火を通して証明されます。そして、それはきよめの火の結果としてもたらされる報い/報酬です。再度、お付き合いください。来週も、イエスについて「ヨハネの黙示録」を学びますけど、私たちが角を曲がってそこから進むのは、イエスが私にとって誰であられ、イエスが私のために何をなさるのか。待ちきれません。それは来週です。主の御心なら。「第一コリント人への手紙」3章を読み、締めくくりたいと思います。おそらく、この一節をご存知です。12節から読み始めます。神から与えられた想像力を使ってください。よろしければ。お願いしておきます。私たちは皆、このような一節をこう読みがちだからです。「おお。OK。」私たちはそれを引用し、参照し誰かに話すこともありますけど、私たちは実際に、ここで何が語られているのかわかりますか？ ここを読みましょう。12節、これは使徒パウロがコリントの教会に書き送りました。パウロはこう言います。

—I コリント 3 : 12—

だれかがこの土台の上に、金、銀、宝石、木、草、藁で家を建てると、他の翻訳には、stubble/切り株と訳されるものもあります。

—I コリント 3 : 13—

それぞれの働きは明らかになります。・・・(その正体が。)・・・「その日」がそれを明るみに出すので。・・・(露呈する。)・・・その日は火とともに現れ、・・・(ここで唸ります。)・・・この火が、それぞれの働きがどのようなものかを試すからです。

—I コリント 3 : 14—

だれかの建てた建物が残れば、その人は報いを受けます。それがヨハネが言ったことです。

—I コリント 3 : 15—

だれかの建てた建物が焼ければ、(おっお〜) その人は損害を受けますが、その人自身は火の中をくぐるようにして助かります。

ある翻訳では、、、私は他の翻訳の方が好きです。あなたはまだ救われています。炎の中をくぐりますけど。つまり、火を通ります。あなたはまだやけどするところが、、、ちょっと言いすぎたかもしれませんが、ポイントはわかりますね。あなたはまだ救われています。で、ここで何が起きているのか？ 神から与えられた想像力を働かせましょう。積み重ねた山が2つあります。1つの山は、薪、干し草、藁、あるいは切り株を積み上げたもの。もう一つの山は、金、銀、宝石。今度は、両方の山を同じように精錬し、きよめの火にかけます。準備はいいですか？ 何が起きますか？ ある人の言い方が好きです。私の山は、薪、干し草、切り株は、非常に大きな山です。焼くのにもう少し時間がかかるかもしれません。しかし、火は正体を露呈します。それが薪、干し草、切り株だとわかります。全て燃え尽きてしまうから。何も残りません。逆にこちらでは、同じ火が、金、銀、宝石をより価値あるものにし、純化します。金、銀、宝石は何を表すのか？ 私たちが御霊によって行ったこと。木、干し草、切り株は何を表しているのか？ 私たちが肉によって行ったこと。それがあなたの山が巨大になる理由です。比較して、こっちの山とは対照的に。しかし、報い/報酬。あなたがこれをご存知なのを願います。天国で私たちは皆、異なる宝を、異なる量の宝があります。一瞬たりとも思わないでください。誰かが天国に行きこう言います。

「ほ〜。(私たちは地元民だから。) 彼らは私よりも多くの宝物がある。」あるいは、「彼らの豪邸の方が私の豪邸より大きい。」いいえ、私たちはこう言います。「信じられない。私は、、、わお!」「うん、でも彼の見た?」「気にしない。主よ、あなたを褒め称えるだけです。主よ、感謝します。」

でしょ? 天国では、永遠では、嫉妬はないからです。そのようなものはありません。あなたはそうなりません。それは罪です。天国には罪はありません。罪は永遠になくなります。家賃はもうありません。ゴキブリやシロアリもそのようなものはいません。そこには夜さえありません。それだけでも、入る価値があります。夜も睡眠もありません。必要ありません。はい、寝ません。眠る必要はありません。ずっと起きていて、疲れることも病気になることもありません。医療関係者なら失業です。はっきり言っておきます。あなたに必要でないものはありません。永遠で。話が行き過ぎですか? 気を悪くさせましたか? 私は機会均等の違反者です。積み重ねた山に戻ります。積み重ねた山は、誰かが言いました。「私は積み重ねた山です。」その意味わかりますか? 「積み重ねた山の下にいる。」私は積み重ねた山。つまり、ものが山積みで、ここに私はこの山を積み上げている。火が露呈しない限りどうやって知ることができますか? 何が木、干し草、切り株で、何が金、銀、貴重な宝石であったかを。火だけがそれを露呈します。天国の報い/報酬と宝は、「第一コリント人への手紙」3章に基づきます。再度、天国では嫉妬や食欲があるとは考えないでください。永遠での地獄の苦しみの度合いが違うように、永遠での宝と報い/報酬の度合いも違います。これが最後です。言いますが、それはただ、黙想するたびに背筋が霊的に寒くなります。ですから、ここで私たちのいのちは、霧です。ヤコブがそう言います。(ヤコブ4:14参照)

80歳と言いましょ。年を重ねるにつれ、上げ続けています。90歳にしましょ。90年。永遠と比べてください。ですから、私がしたことは、そこから、5年を引かねばなりません。5歳までは何もわかりませんから。私の場合、15歳です。それ以前の記憶がありません。何歳だったかわかりません。ですから、人生の最初の数年間は除きます。80歳まで戻ります。それでいいですか? 私たちは80年与えられました。そのスパン(一生の間)ですること。霧のような80年が私たちの永遠を決定します。それがあなたを立ち止まらせませんか? 長いような短いような人生で、あなたがしたことのすべてが、あなたの永遠での報い/報酬を決定するからです。ある有名な言葉があります。

「やがて一つの人生は過ぎ去り、キリストのために行われたことだけが永続する。」(チャールズ・スタッド) この言葉を私たちに委ねたいのです。皆さんに委ねるとは言いません。私も拘っているからです。自分のものにしないといけないからです。私はそうしています。皆さん、それをご存知だと願いますよ。私が持っていないものを伝えることはできません。私はここに立って、皆さんを見下して、説教したりすることは

できません。いいえ、私はこれを持っています。私はこの分野で博士号を持っています。私は、あなたのように、ただこう言えます。自分の人生を再考し、自分の時間の使い方を、見直すきっかけを与えてくれます。永遠に照らし合わせて、私は自分の時間、才能、宝をそれに投資し、すべて燃え尽きる。私が若い信者だった頃、、、これが最後の締めくくりです。もうおしまいです。皆さんの忍耐と優しさに感謝します。若い信者の頃、私たちはグループ、小さなグループでキリストにある兄弟姉妹がいました。教会の後、私たちはいつもその学びや教え、適応について話し合いました。ある特別な夜、すべてはどのように燃え尽きるのかについての教えでした。ですから、そこにいた兄弟の1人が新車を買ったばかりでした。もちろん、このことで次の章が書けますよ。そこにもう1人の兄弟が、素早く彼の唇からどんどん出てきたのは、彼が何を言ったかわかるでしょ。いとも簡単に。(直訳：熱したナイフでバターを切るように)「すべてが燃えてしまうぞ〜。」本当の話です。そう言った兄弟の車は、新車ではありませんでしたが、燃えてしまいました。ここで新車を買った兄弟が運転してきて、「すべてが燃えてしまうぞ〜。」つまり、あなたがここに投資しているのは、すべてのお金、時間、宝、才能、この物のすべてで、それは長く続きません。

「天に宝を蓄えなさい。そこでは虫やさびで傷物になることはなく、盗人が壁に穴を開けて盗むこともありません。」(マタイ 6：20参照)

あなたと一緒に持っていくことはできませんけど、先に送ることはできます。そこであなたを待っています。ところで、投資家の皆さん、こういうことに詳しい皆さんは、利回りについてご存知ですね。からかっているんですか？ 複利について話しています。つまり、この収益は、文字通り、この世のものとは思えません。それでは、叫ぶのは終わりです。カポノ、上がってきてください。ご起立ください。祈りで締めくくります。少しでもお役に立てれば幸いです。私は祈ります。主に祈りをお願いします。

主よ、今、あなたがこれを取られ、私たちの人生の祭壇に新たな火をお与えください。私たちがどのようにあなたを見、思いを巡らし、あなたがどういう方であられるか、あなたがどのようにであられるか。主よ、これは現実です。これは、人々が座っていた椅子や、私たち全員が立っている床よりもずっと現実的です。これはまた、もうすぐ、もう間もなく、です。ですから主よ、今一度、私たち全員、私も含め、祈ります。これを聞き入れ、心ずることができるよう。イエスよ、ありがとうございます。あなたが私たちにとってどういう方であられるかを。イエスの御名によって、アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii 筆記 hukuinn7